

第95回 茨城県 建築士会 県央支部 建築セミナーのご案内

平成30年2月

茨城県建築士会県央支部長 市毛純一

事業委員長 石川啓司

『古民家に学ぶ木の家づくりとまちづくり』

関谷真一/Shinichi Sekiya さんは工学院大学で山下司先生を師事、山下司(建築意匠)研究室・大学院修士課程を修了された後、(株)番匠設計に籍を置き、社寺や茶室を含め木造建築の設計に関わってきました。現在は、(株)結設計室代表取締役として、木の家づくり、空き家改修、地域のまちづくりにも活躍されています。

古民家に学ぶ新たな木の家づくり、さらには空き家改修を核としたまちづくりを紹介させていただき、今後の家づくり、地域のまちづくりについて、皆さんと共に考えてみたいと思います。

関谷真一/Shinichi Sekiya

株式会社 結設計室 代表取締役 一級建築士

東京建築カレッジ講師

八王子市まちづくりアドバイザー

NPO 法人 らいふ舎理事長

記

1. 日時 2018年 2月 15日水曜日 18:30~20:00
2. 場所 茨城県総合福祉会館 4階 研修室
3. 内容 『古民家に学ぶ木の家づくりと地域のまちづくり』
4. 講師 関谷真一/Shinichi Sekiya
5. 参加費 1000円
6. 定員 40名
7. 申込締切 平成30年2月 9日(金)

☆ 参加ご希望の方は、下記宛にFAXまたは郵送にて申し込み下さい。

〒310-8610 水戸市中央 1-4-1 水戸市役所建築指導課内
建築士会県央支部 FAX 029-228-5674 TEL029-224-1111



第95回 建築セミナー申込用紙

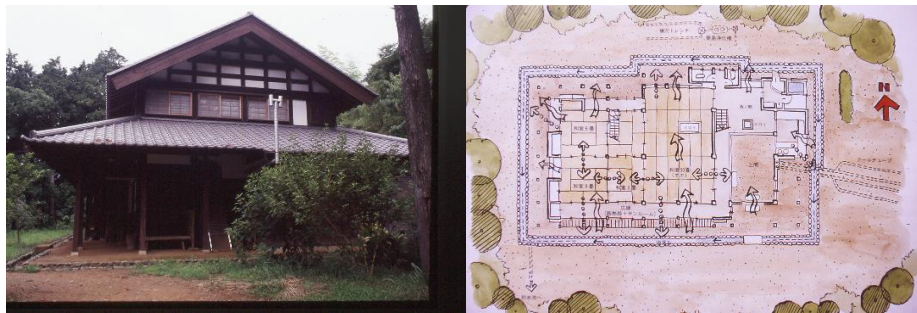
2月 15日(水)開催の第95回 建築セミナーに参加したく申し込み致します。

参加者氏名	勤務先	電話番号	FAX番号

「木造建築づくりと地域のまちづくり」の実践から

私は、八王子市で生まれ育ち、木造住宅を中心にした設計活動を実践。祖父が、材木屋を営んでいたのが、私が木造建築に関わるきっかけだったのかもしれませんが。工学院大学大学院修了後、先祖が高尾山の寺院なども手がけてきた江戸時代からの宮大工で、社寺や茶室の設計にも秀でた八王子の番匠設計の小町和義氏のもとで12年間勤務。私の担当した住宅で、桂離宮昭和の大修理を担当した大工が施工した愛知県犬山市の住宅もあり、その他多く木造建築の設計に関わり、様々なことを学びました。番匠設計の仕事で、金沢から伊豆半島の河津に移築し、再生した古民家が木を活かし、合理的な構造とフレキシブルな空間構成、自然エネルギー利用など、私の設計の原点になりました。また、工学院大学K×Kプロジェクトでは、今後10年、学生参加、多摩産木材でキャンパス内の小屋を改築して行きます。

また、自ら住むまち八王子にこだわり、地域のまちづくりにも関わり続けています。八王子市まちづくりアドバイザー、市民参加の公園作り、古民家活用、マップ作り等も行っています。



河津いりあい村の家



長崎F邸



工学院大学 K×K プロジェクト



八王子小津おもむろ(古民家活用)